

● 今回も空手でおきた話
● 空手の試合でおきた、奇妙なお話である
● 小学6年生の大会の時である。
● 私の対戦相手は、私よりはるかにせの高
● い相手であった。
● しかし、ヒョロツとしていて強そうでは
● ない。
● 試合開始、相手は私にまっすぐつっこん
● できた。しかも、手を後ろに回して、
● まるでアンパンチのようにうでをふり回
● してきたのである。
● かんたんによけることができた私は、
● 相手のおなかにけりを入れた。
● 相手はいたさのあまり、うずくまった。
● しんぱんが試合をとめて「いけるか？」
● とかくにんをしている。相手は泣いてい
● たが、立ち上がった。
● 再び試合が始まった。
● そこから、相手は急に変わったのだ。
● 私が近づくと「ウヒョー」と言ってにげ
● るのだ。私はおいかける。すると相手は
● にげる。リングの中でおにごっこみたい
● になった。けっきょく時間が来て、私は
● 勝ったが、おいかけすぎてへトへトに。
● あの人は、何だったのだろうか・・・

問い1 私の対戦相手はせが高い
しかし、（

）

問い2 相手は私が近づくと（

）